

市議会だより

かしば

人・街・暮らし

No.122

発行：香芝市議会 編集：香芝市議会だより編集委員会
連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎76-200(代)



平成21年1月16日“地震発生”の放送と同時に机の下に避難する生徒たち（鎌田小学校防災訓練）



体育館へ避難する生徒たち



災害用トイレを組み立てる先生や市職員

おもな内容

- ・平成20年12月定例会市議会の概要と結果..... 2 P
- ・3月定例会会期予定..... 10 P
- ・一般質問..... 3 P～9 P
- ・議会日誌..... 10 P

平成20年12月第5回(定例会)香芝市議会結果

会期 平成20年12月8日～平成20年12月22日の15日間

議員定数を2名削減〔20人から18人に〕

12月議会では、理事者から提出された14議案及び議員提案による3議案について、慎重に審議いたしました。中でも、発議第3号「香芝市議会議員定数条例を改正することについて」では、行政改革の一翼を担い理事者側に提言していく以上、議会みずからも減量化を図るべきとして、議員定数2名を削減することに賛成多数で可決いたしました。

議 案	結 果	
報 第 6 号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	報告受理
報 第 7 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告受理
議 第 42 号	香芝市ふるさとまちづくり寄附条例を制定することについて	原案可決
議 第 43 号	香芝市文化振興基金条例を制定することについて	原案可決
議 第 44 号	香芝市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて	撤回承認
議 第 45 号	香芝市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
議 第 46 号	香芝市重度心身障害者等福祉年金条例の一部を改正することについて	原案可決 (附帯決議)
議 第 47 号	香芝市訪問看護ステーション条例を廃止することについて	原案可決
議 第 48 号	平成20年度香芝市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議 第 49 号	香芝市自転車駐車場の指定管理者の指定について	原案可決
諮 第 4 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案承認
(追 加 議 案)		
議 第 50 号	香芝市国民健康保険条例の一部を改正することについて	原案可決
議 第 51 号	香芝市の特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び香芝市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
議 第 52 号	香芝市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて	原案可決

議 員 提 案	結 果	
請願第1号	香芝市における中小企業者の育成に関する請願書	採 択
発議第2号	香芝市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する議第44号に対する修正(案)	撤回承認
発議第3号	香芝市議会議員定数条例の一部を改正することについて	原案可決
動 議	議第46号の継続審査について	否 決

委 員 会 付 託 議 案	
総務財政委員会	議第42号、議第43号、議第44号、議第45号、議第48号、議第49号、発議第2号
民生文教委員会	議第46号、議第47号、議第50号

議第46号香芝市重度心身障害者等福祉年金条例の一部を改正することについての附帯決議(要約)
<p>本改正条例案を可決するに当たっては、次の項目を遵守されることを求める。</p> <p>一、高齢者、障害者等社会的弱者とされる方の生活に十分に配慮し、きめ細やかな政策の実施につとめること。</p> <p>二、3級の身体障害者等の生活への影響を注視し、生活が困窮するなどの事態が生じたとき、市は誠実に相談に応じ、必要な方策を講じることに万全を尽くすこと。</p> <p>三、平成21年度予算を策定するにあたっては、財政悪化を理由として、いたずらに市民生活に犠牲を強いることのないよう配慮すること。</p> <p>四、支給資格に関する所得制限の規定がないことから、今後、調査し必要な是正を講じられること。</p>

12月定例会の一般質問は12月17日、18日に行われ、13人の議員が市政全般にわたり市の見解をいただきました。その主な内容は次のとおりです。※詳細につきましては、香芝市議会会議録検索システムweb上でご覧ください。http://www.gijiroku.net/city.kashiba/

一般質問 質問者・項目

※太字の項目は本文中に要約文を掲載（掲載は質問順）

中山 武彦

・「香芝検定」の実施など香芝の伝統や魅力を活かした施策推進について

・高齢者と介護家族の支援を強化すること

・金融危機における生活支援、中小・小規模企業支援策について

・川田 裕

・予算の組み方の理論の確認（古い体質からの脱却）

・奥山 隆俊

・行政改革大綱実施計画について

・地域活性化の急務性について

・指定管理者の指定について

・中村 良路

・高齢化社会について

・市民サービスについて

・環境の取り組みについて

・下田 昭

・危機発生、その時、地域は子育て支援での対応

・小西 高吉

・学校教育について

・小児科・産科のある救急病院について

・細井 宏純

・水質保全対策のうち、し尿及び浄化槽の行政事務について

・職員の服務（義務）では、公共の利益のために勤務し、職務の遂行に当たっては全力を挙げて専念しなければならないとしているが、

一層の努力を求めることについて
・ふたかみ文化センター西側の既に完成している跨線橋が供用開始されないことについて

・西浦 秋男

・学校教育について

・介護保険事業の自身について

・水道事業の委託業者選定について

・河杉 博之

・香芝市環境基本計画について

・子育て支援について

・中学校におけるクラブ活動について

・芦高 省五

・消費税について

・不況対策について

・堀川 和行

・香芝市環境基本計画について

・長谷川 翠

・平成21年度予算編成に関する本市の考え方について

・安心して子供を産み育てることのできるまちづくりについて
・女性の一生を総合的に支援するための政策について
・姉妹都市提携についての本市の考え方

・藤本 みや子

・香芝市高齢者福祉施策・障害者等福祉施策について

・国民健康保険料の引き下げについて

・耐震化について

・小学校給食について

・土地開発公社問題について

中山 武彦 議員

▼「香芝検定」の実施など香芝の伝統や魅力を活かした施策推進について

（一）香芝の古い歴史、伝統をどのように市政に活かしていくのか。

「企画調整部長」二上山博物館の運営や歴史的資源の保存発掘、あるいは尼寺廃跡の整備をすすめ、岳のぼりなど伝統行事の実施に努めている。

（二）平城遷都千三百年祭に向けて、県と香芝市の連携事業を伺う。

「企画調整部長」県と連携協力し、歴史史跡、文化史跡をめぐるウォークラリーを予定している。

（三）「香芝検定」を実施すべきと考えるが市の考えを伺う。

「企画調整部長」行政より、民間団体が主体となり実施するのがよいと考えており、必要な協力を行いたい。

▼金融危機における生活支援、中小・小規模企業支援策について

（一）金融危機における市民生活への影響と、「定額給付金」事業について、どのような期待を持っているのか市の考えを伺う。

「企画調整部長」収入が伸び悩み、物価高騰が家計を直撃する中で、住民の不安に対処するため、生活支援を

行うとともに、広く給付することにより地域の経済対策への貢献を目的とした政府の追加経済対策の柱として実施されるもので経済的効果はあるものと考えている。

（問）香芝市の給付額はどの程度か

「企画調整部長」十一億円程度の金額になると予想している。

（二）「定額給付金」は、スムーズな運用を目指して準備に万全を尽くすべきであると考えているが所得制限も含めて市の考えを伺う。

「企画調整部長」事業実施に支障が生じないよう準備を進め、所得制限は設けない方針である。

（三）中小・小規模企業の資金繰りを支援する緊急保証制度についての期待と市の支援策について伺う。

「産業建設部長」中小企業にとってタイムリーな制度であり、この保証制度に係る認定事務を速やかに進めるよう努めている。

（問）セーフティーネット保証制度の認定件数はどれくらい増加しているのか。本市独自の融資制度の創設はどうか。

「産業建設部長」セーフティーネットの認定件数は、前年度に対し本年度は六十数件の増加となっている。また、独自の新たな融資制度の創設は現時点での予定はない。

川田 裕 議員

▼予算の組み方の理論の確認（古い体質からの脱却）

（一）一律カットを行う予算の組み方を是正するとの理論について

〔総務部長〕一般財源ベースの予算枠を部局に配分し、優先順位づけをしてより一層厳しい事業選択を行う。

（問）部局配分にしても枠が決まっていたら同じではないか。

〔総務部長〕部長、市長査定にて緊急性、重要性が高い事業は、重点政策枠を活用し重点的再配分を行う。

（問）優先順位のつけ方の理論と所得再配分についての考え方は

〔総務部長〕税の所得再配分から、住民の福祉、生活に密着した事務事業が最優先課題だと思っている。

（二）児童に石けんまで持参させるほど予算カットした教育費・関連費を引き下げる約束だが、財政当局は教育現場を視察認識しているか。

〔総務部長〕現場視察はしていないが、十分認識している。

（三）百年に一度の経済大恐慌といわれるが、国の主要経済指標は担当部局でどの程度理解しているのか

〔総務部長〕国の発表する経済指標等の分析、また翌年度の地方財政収支仮試算では、税収の落ち込みは深刻

であり、新年度予算編成が香芝の浮沈を握っていると思っている。

（四）社会保障関連費の自然増に対する予算枠の変化がないのはなぜか。それらに対する理解度及び予算組み理論の解釈はいかがか

〔総務部長〕給付実績等の状況等に基づき別件で予算査定している。

（五）予算の組み方の優先順位について、税の再配分理論に基づくものとは考えられない。実体経済の変動により施策は変わるが、一律配分額を減らすことだけが予算の組み方ではないと思うがいかがか（市民生活に軸足を置いた優先順位の低い事業凍結の準備は出来たか）。

〔総務部長〕部局への枠配分は、市税収入（一般財源）による税の再配分であり、その配分の優先順位は生活に密着した福祉、教育からされるべきである。

（六）以上の事から、この緊急事態（財政悪化）の市長の方針を聞く。

（問）仕事をしない職員は降格、降給してもいいのではないか。また財政悪化による緊急的取り組みは

〔市長〕職員については、仕事をしないと不利益を受けるといふ方向性を検討し、また厳しい財政悪化問題については、行政改革を強力に推進することでも乗り切りたい。

〔企画調整部長〕庁舎一階で感想を記入していたいたり、アンケート調査も継続的に実施している。

（一）地域活性化の急務性について

〔産業建設部長〕経済状況の悪化、また後継者不足により、規模縮小や廃業などに追い込まれている。

奥山 隆俊 議員

▼行政改革大綱実施計画について

（一）組織機構の見直しについて

〔企画調整部長〕組織機構のスリム化、また外部委託の推進、政策立案部門の充実も考慮に入れていく必要がある。

（問）次期総合計画に掲げる目標別の体系について

〔企画調整部長〕数値による目標設定を考えている。

（問）市長の政策ビジョンを進める上での、組織の構築について

〔企画調整部長〕担当部局が自ら決定していくという意思決定の分担を図る必要があると考えている。

（二）定員管理と給与の適正化について

〔企画調整部長〕事務の簡素化合理化等を総合的に進め、さらに職員数の適正化に努めたい。給与は、平成十八年以降、国に準じた取り扱いを行うべく改革に取り組んできた。

（三）市民サービスの向上について

〔企画調整部長〕市民課窓口において実施中であるが、一元化が図れていない手続きもある。引き続き検討したい。

（問）市民満足度の把握について

〔産業建設部長〕中小企業資金融資制度の状況は、七十件程度である。

（二）香芝ならではの視点からのまちづくりと産業振興について

〔企画調整部長〕近郊住宅都市という位置づけは変わらないが、駅を中心とした地区への商業施設の集積、大都市近郊という利点での名産品、特産品づくりに関係機関と連携し取り組む必要があると考えている。

（問）新しいまちづくり、産業創出の考えについて

〔企画調整部長〕新たな視点からの研究、検討が必要である。

（問）香芝ブランドについて

〔市長〕香芝の個性・魅力づくり、また文化や産業の新たな振興策について十分配慮していきたい。



▲市民課窓口

中村 良路 議員

▼高齢化社会について

- (一) 高齢者のひとり暮らし
- (二) 高齢者同士の老老介護
- (三) 高齢者同士の認知介護
- (四) 今後の行政の取り組み

(問) 以上について、いかに実態把握し、対策支援をしているのか。

〔保健福祉部長〕高齢者のひとり暮らしは、今後ますます増加すると予想される。また、老老介護は、少子・高齢化や核家族化の進行によりさらにふえ、それがさらに進んだ状態として認知介護となる。

認知症予防教室や水浴訓練、筋力向上トレーニング等の各種教室を開催している。また、

民生委員等が高齢者を定期的に訪問し、介護状態や認知症の早期発見を心がけている。



▲転倒骨折予防教室

(問) 孤独死の実態について
〔保健福祉部長〕過去三年間で四件あった。

(問) 支援の実態について

〔保健福祉部長〕自力だけでは困難な高齢者世帯には、訪問介護サービスを利用していただいている。

(問) ひとり暮らしで介護も支援も受けていない人の実態把握について
〔保健福祉部長〕行政のみでは限界があり、安全・安心のまちづくり情報ネットワークも把握に努めている。

(要望) 最重要政策として、高齢者対策に取り組んでもらいたい。

▼市民サービスについて

(一) 市民窓口の時間延長について
〔副市長〕利用状況や利便性も考え合わせ検討していきたい。

(要望) 今後とも時間延長を含め、さらなる市民サービスの向上に努めてもらいたい。

▼環境の取り組みについて

(一) ノーマイカーデーの取り組みについて

(問) まず市関係者から月一回の取り組みはできないものか。

〔企画調整部長〕職員には自己努力での対応としている。

(問) 一斉に取り組むをすることができないか。

〔企画調整部長〕今後の検討課題としてたい。

(要望) 市民全体の取り組みとしても検討してもらいたい。

下田 昭 議員

▼危機発生、その時、地域は

- (一) 危機発生時、最前線に立つ市の役割
- (二) 災害に強い地域は、弱い地域は
- (三) 「自助」「共助」「公助」の限界

〔企画調整部長〕危機発生時には速やかに災害対策本部を立ち上げ、被害を最小限に食い止めるため、香芝市地域防災計画等により迅速かつ的確な対応が行えるよう備えている。

以前から公助の限界は議論されており、今後は、自助の重要性を広報等で啓発するとともに、共助である自主防災組織の有効性や必要性の啓発に力を注ぎ、支援策等も検討していきたい。

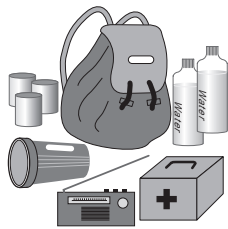
(問) 大雨時、仮に子供がマンホールへ吸い込まれた場合の対応は。

〔企画調整部長〕水防という体制での出動になるが、

消防、警察と連携をとりながらの対応となる。

(問) 水や食料等の確保について

〔副市長〕今後、十分検討を加えていきたい。



▼子育て支援での対応

(一) 市内を4つに分けた理由

〔保健福祉部長〕厚生労働省の子ども子育て応援プランでは、子育て支援の拠点は、中学校区に一方所という整備目標が示されている。

(二) 支援従事ボランティアの限界、その答えは

〔保健福祉部長〕事業運営は、子育てサークルへ委託し子育て相談などニーズに合ったサービスを提供している。支援従事者及び親がともに支援にかかわることが大切であると考えている。

(問) 香芝高校でされている支援事業の効果、メリットは

〔保健福祉部長〕将来の子育てには役に立つと思っている。

(問) 今後の運営について

〔保健福祉部長〕つどいの広場事業利用者ニーズ等を十分に配慮し運営方法について再検討していきたい。

(要望) 防災活動や子育て支援活動に職員も一緒に行動してもらいたい。

〔市長〕防災訓練等は周知を図って、職員自ら先頭になり参加するようにしていきたいと思っている。

子育て支援は、市民や学校、またボランティア等の協力をいただきながら努力したいと考えている。

小西 高吉 議員

▼学校教育について

〔一〕小中学校でのいじめの現状
〔教育委員会事務局長〕七月にいじめについてのアンケートを実施し、少数ながらいじめがあるという結果となり大変憂慮している。

〔問〕どのように把握しているのか。

〔教育委員会事務局長〕家庭からの連絡や、本人からの報告、また教師が気づく場合もある。

〔問〕いじめ相談の体制づくりや今後の取り組みについて

〔教育委員会事務局長〕保護者と学校と教育委員会が連携をとり、努力を重ねていきたい。

〔要望〕小さな見えないところも見逃さないでもらいたい。

〔二〕中学校での昼食時間

〔問〕今の昼食時間で十分なのか。

〔教育委員会事務局長〕実態を把握して慌てることなく食べられるよう時間配分を考慮するように、さらに食育教育の大切さも徹底するようにも指導していきたい。

〔三〕中学校での部活動の意義

〔教育委員会事務局長〕部活動は生徒の自主的、自発的な参加により行われ、スポーツ及び文化等になじませ、学習意欲の向上や責任感の涵養等に

資するものであり、学校教育の一環として教育課程との関連を図りながら進めていくことと今回の学習指導要領にも明確に位置づけられている。

〔問〕意義どおりにできているのか。

〔教育委員会事務局長〕部活動は、あくまでも学校教育の一環であり、過度な競争主義は排斥されなければならぬと考えている。今後ともその本来の目的が達成されるよう各学校に対し、指導と支援に努めたい。

〔要望〕教育の一環としての部活動であるということを十分理解して行ってもらいたい。

▼小児科、産科のある救急病院について

〔一〕県に対しての要望書提出後の経過と今後

〔企画調整部長〕現在、停止している状況となっている。

〔問〕検討委員会設置について

〔企画調整部長〕まだ設置する状況には至っていないのが実情である。今後もし引き続き要望活動を行っていききたい。

〔市長〕現状を十分に踏まえ、さらに訴えをしていきたいと思っている。

〔要望〕一日も早く、安心して生育てられる環境づくり、特に小児科についてよろしく願う。

細井 宏純 議員

▼水質保全対策のうち、し尿及び浄化槽の行政事務について

〔一〕し尿及び浄化槽の維持費の各家庭の出費は妥当な額か

〔二〕公共下水道未整備地区の現状と、負担及び不利益の軽減について

〔副市長〕浄化槽の機能を発揮させるため、浄化槽の保守点検、清掃を実施することが大切である。また、料金設定は、当時他市町村の料金とも比較し決定されたが、その後、十数年改定がなく今日に至っている。

〔要望〕市民への料金にかかる周知文等については、必要な訂正を早い時期にお願いしたい。

▼職員の服務(義務)では、公共の利益のために勤務し職務の遂行に当たっては全力を挙げて専念しなければならぬとしているが、一層の努力を求めることについて

〔一〕部局や職員個人により、対応格差が広がっていることについて

〔企画調整部長〕職員一人一人が服務規律を自覚し、公平で公正な対応に努めるよう徹底していきたい。

〔二〕市民や地域の指摘・要請を不当な要求と捉える事案が発生していることについて

〔企画調整部長〕指摘、要請事項をよ

く検査し、法令等に照らし、公平公正で納得性のある対応で説明責任を果たしたい。

〔問〕不当な要求や圧力とは

〔総務部長〕武力行為、脅迫行為等、また庁舎秩序の維持や事務事業に支障を及ぼす場合、またその他職員の正常な判断に影響を与える悪質な行為をもつて要求される場合は不当要求に当たると解されている。

▼ふたかみ文化センター西側の既に完成している跨線橋が供用開始されないことについて

〔都市整備部長〕安全面等を考慮し、磯壁北今市線の供用は平成二十二年三月末の中和幹線の副道部分の完成をもつて当たりたいと考えている。

〔問〕問題になる時間帯は一日につき一時間程度だと思いが、十分協議すれば出来るのではないか。

〔都市整備部長〕子供の安全を最優先する必要から、いましばらくの猶予をお願いしたい。

〔問〕藤山の踏切も危険であるが、再考する余地はないか。

〔市長〕現時点で供用開始するほうが問題点が大きいのという判断をしている。



▲磯壁・北今市線

西浦 秋男 議員

▼学校教育について

(一)「こころの病気を学ぶ授業」を導入することができないか。

〔教育長〕中学校の保健体育の授業で、心の健康などを学習しているが、統合失調症の授業の導入は制度的な問題から導入するのは難しい。

(問)新しい教育課程編成時、統合失調症の授業を設定できないか。

〔教育長〕学習指導要領に入り、教科書に載ってくれば教えられる。

(要望)統合失調症についても、認識を深め勉強してもらいたい。

▼介護保険事業の中心について

(一)介護タクシーとは

〔保健福祉部長〕要介護認定の方が病院などのタクシー利用時に、運転手が乗降介助などを行い、介護保険を適用してサービス料をいただくもので、利用者は通常のタクシー運賃に乗降介助などの介護保険適用サービスの1割をプラスした額を支払うことになっている。

(問)介護タクシーについて皆さんが混乱している、お年寄り等への周知はどうするのか。

〔保健福祉部長〕介護認定を受けられた方にパンフレット等を渡して説明をしているが、出前講座等で積極的

にPRをする必要があると考える。

(二)民間救急車とはどのような時に利用する物なのか。

〔保健福祉部長〕認定を受けた民間の業者が患者等搬送事業として、車いすなどを固定できる車両を使い、ベッドに寝たままでも利用できるサービスである。民間救急車は通院以外の送迎にも利用されている。

(問)本市で民間救急車を扱っているところはあのか。

〔保健福祉部長〕市内に1社ある。

(問)公共救急車と民間救急車の違いについて

〔保健福祉部長〕民間救急車は医療行為や救急走行を行うことができないもので、緊急事態に対応するものではなく料金が必要である。

▼水道事業の委託業者選定について

(一)プロポーザル方式による委託業者の選定の内容について

〔水道局長〕実績のある専門事業者を選定し企画提案書の提出を求め、プロポーザル方式で決定した。

(問)ホームページに入札結果の掲載がないがどうしてか。

〔水道局長〕水道局入札公表要領の対象外であることから公表していないが、今後、先進自治体とも選定手続や情報提供基準等の公表方法について研究を行いたい。

河杉 博之 議員

▼香芝市環境基本計画について

(一)基本計画の進め方について

〔副市長〕推進にあたっては、市、市民、事業者の協働が不可欠となる。市が行政として公益のために担うべき公助にとどまらず、市民や事業者が自立的に取り組む自助、さらに市民や事業者がともに助け合う共助の取り組みを支援し、力を引き出しながら進めていきたい。

(問)検証結果や取り組み状況をどのように周知するのか。

〔副市長〕広報紙やホームページを通じて広く公開したい。

(二)環境問題としてのゴミの取り組みについて

〔副市長〕循環型社会を目指しており、有効利用できる素材はリサイクルしている。今後、資源化できる品目や収集回数をふやすなど、収集の体制、設備の見直しを検討したい。

(問)不燃物や有害ごみを軽トラックで収集できないか。

〔副市長〕検討課題としたい。

▼子育て支援について

(一)父親の子育て支援について

〔保健福祉部長〕父親の子育てへの参加は、子供の健全な育成などに有効である。また父親も参加できる健康

診断等の土、日曜日の実施は、医師会との調整協議が必要である。

▼中学校のクラブ活動について

(一)活動の現状について

〔教育委員会事務局長〕現在、部活動をしている生徒は約85%である。

(問)入りたいクラブがないということについて

〔教育委員会事務局長〕生徒が希望するクラブの創部が望ましいが、ない場合は生徒や保護者に十分な説明を行い、理解を得ている。

(二)顧問の先生方の配置について

〔教育委員会事務局長〕生徒が活動したいクラブが確保されていない現状もある。その要因としては、指導者や顧問の確保が難しい点があげられる。指導者を外部から招くことも視野に入れた取り組みを指導したい。

(問)部活動の人的な問題については、地域の方の協力や学校支援地域本部事業による解決方法も考えられるのではないか。

〔教育委員会事務局長〕部活動の指導にもボランティアが参加できる環境整備を視野に入れ、関係機関との連携を図り、指導者の確保や充実した部活動が展開できる体制づくりに努めたい。

(要望)先生の転勤時は、部活動の指導者という面も考慮してほしい。

芦高 省五 議員

▼消費税について

〔総務部長〕消費税は、勤労世代など特定の者への負担が集中せず、貯蓄や投資を含む経済活動に与えるゆがみが小さい特徴を持っており、社会保障財源の中核を担うものである。

また、地方消費税においても税収の偏在性が少なく重要な役割を果たしており、なくてはならない財源の一つである。

また、少子・高齢化の進展に伴い地域福祉等を支える社会保障関係費の大幅な増加が見込まれる中、消費税の重要性はますます大きくなると考えられる。

〔問〕我々は消費税5%を当面3%に引き下げ、食料品等を非課税にしてはどうかと20年間主張してきたが、市の考えはどうか。

〔総務部長〕市としては、今後の国の税制改正の論議を注意深く見守るしかないと考えている。

〔問〕国に市長から消費税を引き上げないよう働きかけたらどうか。

〔市長〕今、消費税引き上げや福祉目的の税などが議論されているが、金融不安や雇用不安の中、消費税の引き上げは今後必要であるとも考えられた。それが消費税としての処理か、

他の税目を含めてするのかということ等については今後の国の動向を見守りたい。

〔要望〕見守るだけではなしに、香芝のトップとしてイニシアチブを発揮してもらいたい。

▼不況対策について

〔産業建設部長〕日本の経済は世界的な金融危機により景気の状態が厳しいものとなっており、市内中小企業者を支援する制度として、香芝市中小企業資金融資制度、香芝市新規創業資金利子補給金交付制度を設置しており、セーフティーネット保証制度にかかる認定事業や公的融資制度、総合相談窓口などの中小企業を支援する施策の情報提供も行っている。

〔問〕不況による雇用不安に対して、行政は何かいい方法を考えるべきである。

〔市長〕雇用が大きな問題となっており、今後何らかの手段を県と市が一体となって検討していく。

〔問〕路頭に迷っている人を救うことが行政の仕事ではないか。

〔市長〕企業の撤退などにより雇用対策が必要であることから、県、市が一体的に協力して取り組んでいかなければならないと考える。

堀川 和行 議員

▼香芝市環境基本計画について

〔一〕ごみの有料化について

〔問〕財政問題ではなく、地球環境を守るために必要と考えるが

〔副市長〕ごみの有料化は、ごみの減量化、リサイクルの推進、並びに費用負担の公平感などの効果が期待でき、最終的にはごみ問題に対する市民意識の高揚とごみの発生抑制が図られると考える。ただ、本市の焼却場は王寺町との一部事務組合で設置している施設であるため、王寺町と歩調を合わせていくことも必要であると考えている。また、ごみの有料化については今日まで協議も行っており引き続き協議を行っていく。

〔二〕マイバッグの普及活動について

〔問〕ごみの排出抑制にもつながると思うが

〔副市長〕買い物袋（マイバッグ）の持参はレジ袋の使用削減だけではなく、石油資源の節約やごみの減量、地球環境の保全につながるものと考えており、本市の環境基本計画においても、市民による具体的な取り組みの環境配慮指針として上げている。また、現在、市内の2店舗でレジ袋の有料化を確認しており、運動

を実施している奈良県や市内の事業者等の協力を得て、市民、事業者、行政が協働で行う運動として市内全域で継続的に定着するよう努めたい。

〔問〕でき得るならマイバッグの普及活動としてレジ袋の有料化も実施してもらいたい。三重県の伊賀市では平成20年7月からレジ袋の有料化を実施されており、その内容は、市内の店舗と協定を結び、レジ袋1枚につき5円で販売し、レジ袋が削減できた金額の半分を市に寄附してもらう方式である。このレジ袋の有料化は正式に伊賀市長が表明してから2カ月で実施されたと聞すが、このことをどのように考えるか。

〔副市長〕マイバッグの普及は、限りある資源を有効的に使う手法であることから、運動を市内全域に広げていきたい。



▲市内スーパーでのエコキャンペーン

長谷川 翠 議員

▼安心して子供を生み育てることのできるまちづくりについて

(一) 妊婦健康審査14回達成について本市の対応

〔保健福祉部長〕国の動向を見ながら、決定され次第14回実施に向けて取り組みを進めたい。

(要望) 14回完全無料化の取り組みをお願いする。

▼女性の一生を総合的に支援するための政策について

(一) 健康・出産子育て・仕事等の相談できる窓口の設置について

〔企画調整部長〕女性法律相談をはじめ、健康や子育て等の相談も行い、問題解決への取り組みをしている。今後とも、女性が抱える問題解決に向けた相談や支援に努めたい。

(要望) 気楽に時間外や休日にも、相談できるようにしてほしい。

(二) 女性健康パスポートの発行について

〔保健福祉部長〕健康に関する記録は大切である。本市では、妊娠届け時に母子手帳を交付しており20歳まで記載ができるようになってきている。また健康増進法に基づく健康手帳を希望者に交付している。

(要望) 一冊にまとめた健康パスポート発行の検討をお願いする。

―ト発行の検討をお願いする。
▼姉妹都市提携についての本市の考え方について

〔企画調整部長〕外国の都市との交流は、子供たちにとっては必要不可欠な国際感覚の醸成にもつながり、大変有意義なものであるが、姉妹都市提携にはそれなりの支出が伴うことから、現在の厳しい財政状況の中では事業実施は困難であると考えている。

(問) 学校教育における姉妹都市構想、国際交流について

〔教育長〕国際化社会への対応ということで、学習指導要領の改訂で小学校の高学年に外国語活動を導入し、来年度から実施を検討している。

(問) 現在の子供の国際交流推進の検討内容について

〔教育長〕教育の個性化、特色化を実現するためには、国際理解教育、異文化理解教育また国際教育の交流は必要な手段だと考える。

来年度から小学校の5年生、6年生に外国語活動を導入する。また、香芝市小学校外国語活動等国際理解教育研究会を新しく立ち上げて研究活動を開始しており、国際姉妹校の候補を求めて調査もしている。

(要望) 香芝で育った子どもたちが、世界で羽ばたけるように努力を重ねていただきたい。

藤本 みや子 議員

▼香芝市高齢者福祉施策・障害者等福祉施策について

(一) 身体障害者3級と重度の知的障害で知能指数50以下の方への年額一万二千円廃止を撤回すること

〔保健福祉部長〕限られた財源を有効に活用し福祉施策をより強固なものとするための改正である。

(要望) 障害者の厳しい状況の中、考え直してもらいたい。

(二) 配食サービスの改善をして、毎日の配食にして費用を安くすること

〔保健福祉部長〕見守りを目的としており、制度の変更は考えていない。

(要望) 一食六五〇円は高すぎるので引き下げしてもらいたい。

▼国民健康保険料引き下げについて

(一) 21年度より国保料金を引き下げること

〔副市長〕国保会計は、医療費の増加に伴う歳出の伸びに対し、歳入が追いつかず赤字が続いており、引き下げができる状態ではない。

(要望) 国保の赤字は平成20年に解消するはずである。

〔副市長〕赤字を解消することは困難である。まずは、単年度の黒字化に努力したい。

(問) 国の補助率25%を減らされた分をふやす活動はしているのか

〔副市長〕機会あるたびに市長会や都市国民健康保険者協議会等で国庫補助金の増額など積極的な財政支援要望を行っている。

▼耐震化について

(一) 幼稚園・保育所・学童保育所等の耐震化を早急に進められるか。

〔教育委員会事務局長〕幼稚園は、教育施設等の改修工事にあわせ進めている。今後も、最重要課題として耐震化工事を順次進めていく。

〔保健福祉部長〕改修が必要な建物は、補強方法等の検討を行いたい。

(問) 幼稚園の耐震化計画は

〔教育委員会事務局長〕年次計画を作成し、耐震化工事を最優先課題として取り組んでいきたい。

(要望) 安全面から早急をお願いする。

▼小学校給食について

(一) 小学校給食調理員の民間委託をやめること

〔教育委員会事務局長〕調理業務の合理化、効率化を図ることが不可欠であることから実施している。


(問) 反対しているPTAもあるのではないのか。

〔教育委員会事務局長〕説明会も実施したが、反対はいただいていない。

各常任委員会は市政発展に資するため、次の視察を行いました。

	総務財政委員会	民生文教委員会	建設水道委員会
日 程	平成20年11月 5日～6日	平成20年11月 5日～6日	平成20年11月11日～12日
視察先	・徳島県阿波市 ・香川県丸亀市	・東京都八王子市 ・静岡県掛川市	・静岡県三島市 ・静岡県富士宮市
目 的	・阿波市ケーブルテレビ施設整備事業について (地震などの災害時の緊急連絡網の整備) ・自治基本条例について	・廃食用油資源化モデル事業(バイオディーゼル燃料)について ・幼保再編計画(幼保一元の推進)について	・電線類地中化事業(街中がせせらぎ事業) ・フードバレー推進事業

3月定例会日程



3月
2日(月) 本会議
4日(水)～6日(金) 予算特別委員会
9日(月) 総務財政委員会
10日(火) 民生文教委員会
11日(水) 建設水道委員会
12日(木)～13日(金) 一般質問
18日(金) 本会議

※詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

香芝市における中小企業者の育成に関する請願書(抜粋)

『要 旨』

中小企業者育成に関する観点から次の配慮をお願いする。

- ① 不況に喘ぐ^{あえ}中小企業者に対し市民・消費者の利用促進を促し地域振興に資する配慮
- ② 市当局及びこれに準ずる入札等に地元業者の観点からの配慮
- ③ 中小企業者の最近の不況による資金繰りへの配慮

12月議会において、香芝市における中小企業者の育成に関する請願を採択し、香芝市長に送付いたしました。

26日	23日	20日	18日	9日	5日	4日	27日	22日	17日	12日	11日	10日	8日	12月	平成20年
香芝広陵消防組合議会	葛城広域事務組合議会	葛城地区清掃事務組合議会	議会議長会 (党派)	京都府木津川市議会視察来庁	全国市議会議長会評議員会	議会議長会 (党派)	近畿市議会議長会理事会	本会議	一般質問	建設水道委員会 議会改革検討会	民生文教委員会	総務財政委員会	本会議	平成20年	



議 会 回 誌

香芝市議会議員一般選挙

○告示日

(立候補届出受付日)

3月22日(日)

○選挙期日(投票日)

3月29日(日)

編集後記

啓蟄のころとなり、どこどなく春の気配が漂うようになりました。

三月定例会は、平成21年度の予算が市民のために適正に編成されているかを審査する予算特別委員会などもありますので、時間が許しましたら傍聴においでください。

また、ご意見がありましたら、議会だより編集委員会(議会事務局内)までお寄せください。

議会だより編集委員会

- 委員長 長谷川 翠
- 副委員長 西浦 秋男
- 委員 藤本 みや子
- 竹下 正志
- 関 義秀
- 中 村 良路
- 川 田 裕